

評価 (C) ↓ 改善 (A)	R 6 年度	評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	令和6年度は、令和5年度に設置したワーキンググループの検討結果を踏まえ、発達障害者支援センター「つばさ」が発達障害児者の支援を行っている支援機関の情報を取りまとめた「発達障害児者のための支援機関ガイド」の作成に着手しました。 また、発達障害児者支援に関する支援者（コーディネーター等）の交流機会を確保するため、障害者自立支援協議会を活用して「多職種交流会」を3回開催しました。 強度行動障害児者支援については、アウトリーチ支援体制の構築に向けてモデルケースを試行的に行いました。さらに、強度行動障害児者への支援状況を把握するため、障害福祉サービス等事業所を対象に「強度行動障害支援（研修等）に関するアンケート」を実施しました。 今後も発達障害者支援地域協議会で、発達障害児者への支援の方策や強度行動障害児者への支援体制（緊急時を含めた支援の基盤整備や、支援者向け研修、実態把握、事例検討等）について協議を続け、各支援を具現化できるよう取り組んでいきます。
		協議会等意見 【評価等に対する意見】	○ 「アウトリーチ支援体制の構築に向けてモデルケースを試行的に行った。」とあるが、現在、どのように実施されており、実施されたことをどのように知ることができるのか、教えてほしいです。 また、地域医療に行けない重度の障害がある人がいます。医療機関が受け入れてくれないために、診療を受けられないことがあります。関係機関との連携を図っていただきたいです。
		改善 (A) 【今後の取組等】	令和7年度は昨年に着手した「発達障害児者のための支援機関ガイド」の周知を図ります。 また、発達障害児者支援に関する支援者（コーディネーター等）の交流機会を確保するため、「多職種交流会」を引き続き開催します。 強度行動障害児者支援については、事業所において、チームで支援を行う上で適切なマネジメントを行い中心的な役割を果たす人材等を養成するため、発達障害者支援センター「つばさ」において「強度行動障害がある人への支援者養成研修会」を開催します。 今後も発達障害者支援地域協議会で、発達障害児者への支援の方策や強度行動障害児者への支援体制（緊急時を含めた支援の基盤整備や、支援者向け研修、実態把握、事例検討等）について協議を続け、各支援を具現化できるよう取り組んでいきます。
評価 (C) ↓ 改善 (A)	R 7 年度	評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	「発達障害者のための支援機関ガイド」について、市政だよりや市公式 SNS の媒体や医師会を通じて医療機関へ情報を発信した。 また、強度行動障害の支援体制を強化するため、県等が実施した「強度行動障害支援者養成研修（実践研修）」を受講した者を対象に「強度行動障害がある人への支援者養成研修」を「つばさ」が3回実施した。 さらに強度行動障害がある人が利用している福祉サービス事業所へ、発達障害者支援センターつばさを中心とした専門家チームによるアウトリーチ支援（コンサルテーション）を行い、1事業所に対して年間5回訪問した。 今後も発達障害者支援地域協議会で、発達障害児者への支援の方策や強度行動障害児者への支援体制（緊急時を含めた支援の基盤整備や、支援者向け研修、実態把握、事例検討等）について協議を続け、各支援を具現化できるよう取り組んでいく。
		協議会等意見 【評価等に対する意見】	

		改善 (A) 【今後の 取組等】	
評価 (C) ↓ 改善 (A)	R8年度	評価 (C) 【目標等 を踏まえ た評価、改 善方策】	
		協議会 等意見 【評価等 に対する 意見】	
		改善 (A) 【今後の 取組等】	